令和6年度事業報告

わーくさぽーと恵の杜(移行)

基本方針に対する達成状況	・各支援機関、行政機関と協力しながら安定したサービス利用に向けを維持できた。 ・事業統合初年度ではあるが、これまでの事業所や地域の基盤を活かし、２名の一般就労者を輩出できた。 事業統合と事業継続の情報発信が不十分であり、安定した利用者獲得、サービス利用にはつながらず。
重点項目に対する達成状況	感染症対策については、老健恵の杜の基準をもとに対策を継続。研修や情報交換などを積極的に図る。感染者はあったが、感染拡大につながることなく収束することができた。 ・個々のニーズや状況に即した支援を行っているが新しい体制のもとに職員の入れ替えが複数あり。 ・職員個々の特徴や発想をもとに支援を展開する手法をとる中で、個々の知識や支援に必要な能力は向上したが、それが難しい職員が困惑する状況もあった。
稼働目標に対する達成状況	事業統合に伴い、大幅に利用者の入れ替えあり。登録数4名程度、平均利用2名弱といずれも前年より低下する。後期に向けては新規の利用開始が複数人おり、稼働がやや上昇。継続的に受け入れることでさらに安定した稼働目標の達成が可能。
予算執行状況	・基本報酬月額の単価および利用率の低下により、収入面に予算と大きな開きがあった。それにともない、職員及び事業規模の縮小を余儀なくされた。
事業およびサービス目標に対する達成状況	・事業統合初年度となったが、それまでの基盤を活かし、一般就労者を複数輩出することができ、いずれも就労実績として計上することができた。取引先企業からも信頼をしていただき、継続的に雇用人数の拡充や実習の依頼もある。一方で、一部の支援機関からは就労移行支援については「廃止」との誤った認識があり、新規利用者の紹介等が一時的に滞るなどの影響も見られ、目標に対して大幅に登録者や稼働率が下がる結果となった。（登録者のうち、長期欠席者あり）
その他事業計画に対する達成状況	虐待防止、ハラスメント、事業継続計画などの法定の研修や訓練については、計画の想定通りに実施することができた。そのなかで、事業継続計画については、実際の災害時・非常時に対応しうるものかについては、検証を続ける必要がある。事業所の新体制の開始に伴い、事業所の状況に合わせ、機能する計画作成・実行すること。スタッフ間の理解の共有を図る必要がある。

月平均稼働

月	定員	稼働目標	稼働実績	備考欄
4月	6人	126人	80人	
5月	6人	126人	63人	
6月	6人	120人	46人	
7月	6人	132人	53人	
8月	6人	126人	41人	
9月	6人	114人	19人	
10月	6人	132人	22人	
11月	6人	120人	20人	
12月	6人	120人	20人	
1月	6人	114人	0人	
2月	6人	108人	2人	
3月	6人	120人	0人	

利用者別の内訳（人）

月	なし	区分1	区分２	区分3	区分4	区分5	区分6	その他	合計
4月	2	1		1					4
5月	2	1		1					4
6月	2	1		1					4
7月	2	1		1					4
8月	2	1		1					4
9月	1	1		1					3
10月	1	1							2
11月	1	1							2
12月	1	1							2
1月	1	1							2
2月	1	1							2
3月	1	1							2

年間行事等の報告

4月	個人情報保護研修
5月	基本報酬・勉強会
6月	虐待防止研修（法令）
7月	ヒヤリハット　事故検討会
8月	就労支援研修
9月	防災関係勉強会・避難訓練
10月	避難訓練
11月	虐待防止勉強会・法人２０周年
12月	
1月	
2月	
3月	BCP勉強会・避難訓練